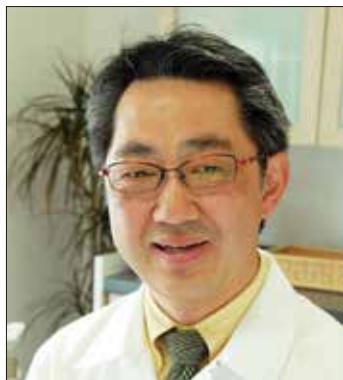


歯質強化の効果が期待できる クリンプロ™ クリーニング ペーストの臨床の実際と今後



東京都開業 日野浦 光 先生

略歴

1954年 岩手県生まれ
1979年 日本大学歯学部卒業
1983年 日本大学大学院
歯学研究科修了
1984~
1986年 米国インディアナ大学留学
1994年 日野浦歯科医院開設
現在、日本接着歯学会副会長、他

「う蝕治療の今後の発展」

3Mより、クリンプロ™ クリーニング ペースト PMTC用とクリンプロ™ 歯みがき ペーストが発売された(図1)。独自の化学技術力を持つ3Mに今までこのような製品構成がなかったのだが、このたびその技術力を背景にした製品が完成した。両製品ともに、う蝕予防効果を期待してフッ化物およびリン酸やカルシウムなどのミネラルが配合されており、歯質強化や再石灰化的促進が期待できる。また日常で使用することになるクリンプロ™ 歯みがき ペーストにはグリチルリチン酸ジカリウムや殺菌成分(CPC、IPMP)が配合され、歯周炎や微生物への働きかけも期待されている。以上の特徴から、予防の様々な場面に登場し、その期待がますます膨らんでいる。

「予防を目指した治療への取り組み」

歯周病におけるメインテナンスは、「歯周基本治療、歯周外科治療、口腔機能回復(修復・補綴)治療により治癒した歯周組織を長期間維持するための健康管理」と定義されている。歯周病はもちろん、う蝕においても、プラークコントロールが不十分であれば容易に再発する。そのため、定期的なメインテナンスは必須である。

PRESIDENT誌(2012年11月12日号)の「金持ち老後、貧乏老後」と題する特集において、シニア世代の健康に対する後悔の第一位は「歯の定期健診を受ければ良かった。」であった。これは驚くべきことではなく、実り豊かなシニア世代にするためには口腔内の健康が必須であることを国民が実感していることを意味している。このように、予防歯科の分野はますます要求の高い分野となっている。つまり、シニアになってもご自身の歯で食事をしていただくためには、若いうちから健康歯質をできるだけ失わないようになると、そして確実なメインテナンスを通じてRepeated Restoration Cycleができるだけ遅く回転させる必要がある(図2)。そして広い意味での予防のために、口腔内の細菌数の“ダウンサイ징”は基本となるものである。

メインテナンスは、それぞれの口腔内の状況によってその内容と対応は一様ではない。定期的なバイオフィルムの破壊と除去が必要な口腔内もあるが、口腔内に生息する細菌数が少なくかつホームケアが確実に行われている口腔内では歯面研磨のみで現状維持が可能となる症例もあるであろう。クリンプロ™ クリーニング ペースト PMTC用は、粒子が研磨時に崩壊していくため低研磨性である。そのことは、本製品のみでクリーニング用としても仕上げ用としても処置することが可能なPMTCペーストであるといえる。そのため、比較的口腔環境が良好であれば、本製品のみで効果的な予防的治療ができる。着色などの汚れが強い口腔内に適用する場合は、粗研磨のペーストを使用後に仕上げ研磨用のペーストとして効果を発揮する。その結果、以下(裏面)の特徴が認められる。



図-1

クリンプロ™ クリーニング ペースト PMTC用、クリンプロ™ 歯みがき ペースト共に、フッ化物、リン酸、カルシウムを1本に配合できているため、う蝕予防効果が高まることが期待できる。

「歯を守る」ために継続したう蝕管理を行う上で、欠かせない製品である。

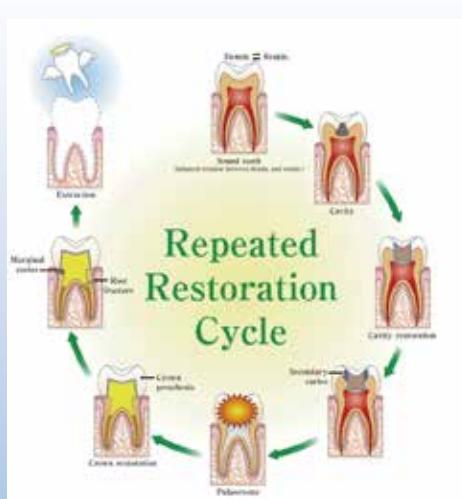


図-2

う蝕治療は、脱灰⇒再石灰化のみが可逆的で、一度削除してしまうとその歯質は元に戻ることができず、抜歯に向かっていくことになる。

①低研磨性である。

- A) 齒や修復された材料に傷をつけることが少ない。すなわち、歯を守る製品であると考えられる。また修復物に対するPMTCでは、研磨性が強い製品を使用するとその光沢性を失わせる原因となり得る。本製品は低研磨性であるために、適用部位を選ばず幅広く使用できる。
- B) 最終的に使用する製品として予防的治療が統一化され、口腔内でのクリーニング時間がより短縮できる。
- C) 複数の研磨剤が配合され、歯面を傷つけずに軽度な汚れを落とすことができる。
- ②前述のようにカルシウム、リン酸、フッ化物を同時に配合しているため、歯質強化の効果が期待できる。根面う蝕に対しては、継続的な使用によりう蝕抑制効果も期待できるであろう。**
- ③シトラスマントの爽やかな味なので、口腔爽快感を得ることができる。**
- ④透明(イエロー)なペーストなので歯面を見ながら施術できる。**
- ⑤ペーストタイプなので飛散にくく、口腔周囲をきれいに保ちやすい。**

「治療から予防歯科へ」

美味しく食べられること、楽しく笑うこと、発音がしやすいこと、等々を毎日何気なく行える充実したQuality of Lifeをシニアになっても送っていただくために、医療を提供する側が求められているキーワードは「予防歯科」であろう。医療を受ける側(患者)が満足できるように、医療を提供する側とそれを受けた側が同じ目的を共有することが前提となる。

その考えの中で、プロフェッショナルケアは臨床での登場回数が一番多い時代が到来した。「歯を守る」という概念のもとでこれらの製品を歯科医院に取り入れたシステムつくりをして、患者さんのQOLの向上に貢献し、歯科界をう蝕予防に向けて少しでもステップアップしていきたいと考えている。

以降は、適用されている症例の一端を開示してみることとする。予防歯科を実践していく中で、本製品の特徴は日常の臨床の中での使用範囲を広くし、生体やテクニックにフレンドリーな材料として認知されるに違いない。

1 術前

術前の正面観。ブラッシングをしているが、歯頸部にブラークの付着と軽度な着色があり、歯肉の発赤や腫脹が認められる。

2 染め出し

染め出し液(ロンドルブルー: 株式会社松風)を綿球を用いて、歯面に塗布する。症例によっては、染め出しをせずに清掃を始めることがある。
染め出し後、水洗する。

3 乾燥

歯頸部にブラークが多く残っていることが確認できる。

4 ポリッシングブラシによる清掃・研磨

歯面研磨清掃用ブラシ(メルサーデュブラシNo.2:株式会社松風)にクリンプロ™クリーニングペースト PMTC用を塗布し、低速で清掃・研磨を行う。
このペーストは崩壊性粒子のため、歯面を傷つけにくい。
バイオフィルムがあまり付着していないブラッシングがいき届いている患者では、ポリッシングブラシを使わないケースがある。

5 ラバーカップによる清掃・研磨

同様に、歯面研磨清掃仕上げ用(メルサーデュカッパNo.4: 株式会社松風)の辺縁を歯頸部にフィットさせ、歯肉縁下などの清掃・研磨を行う。
クリンプロ™クリーニングペースト PMTC用は、透明なペーストなので施術中も歯面が見え易い。また、ペーストタイプなので、口腔周囲に飛び散ることが少ない。
施術中は、シトラスマントの香りと味が口腔爽快感を与える。

6 術後

クリンプロ™クリーニングペースト PMTC用、クリンプロ™歯みがきペーストの両方にフッ化物とTCP(リン酸とカルシウムを含む結晶体)が配合されているため、歯質の強化及び再石灰化の促進が期待できる。両製品をホームケアとオフィスケアで使用することで、より効果が高まると思われる。

3M、ESPE、クリンプロは、3M社またはその関連会社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー
歯科用製品事業部

詳しい情報は… **Let's Access!**
3M ESPE 歯科用製品ホームページ

3M 歯科

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

検索

当事業部取扱製品のお問い合わせは
3M ESPE コールセンター

0120-332-329

※受付時間／9:00～17:00 月～金(土・日・祝を除く)
※フリーダイヤルが繋がらない場合は、
03-6409-3157をご利用ください。

Please Recycle. Printed in Japan.
Copyright © 2015 3M. All Rights Reserved.
DEN-1204-BJ (061505) PN/SH